

# アカゲラ通信



## 旭山記念公園は現在部分開放中

旭山記念公園内は現在部分開放中。下図の赤枠で囲まれた黒斜線エリアは立入禁止です。

7月22日(木)に一度閉鎖解除となりましたが、24日(土)朝に再びヒグマが目撃され再閉鎖となりました。

8月14日(土)以降は「部分開放」となりましたが、指定されたエリア以外は立入禁止です(下図参照)。

今後、積雪期までには全面開放となる予定ですが、時期は今のところ未定です。

ヒグマと人との事故を起こさないための措置であり、皆様ご理解ご協力のほどよろしくお願いします。

駐車場開門時間は通常通り6時から22時です。



## 旭山通信 ~レストハウスより 2021年9月

旭山記念公園レストハウスぽるくでは、「みのり彩園」の自然栽培の野菜を販売しています！

ぽるくは、札幌市豊平区にある NPO 法人手と手(就労継続支援 B 型)が運営しています。その就労支援の1つに農園での農作業があります。その農園は「みのり彩園」、札幌市北区屯田町 1054 番地の畠で、自然栽培(無農薬、無肥料)で農作物を育てています。農福連携に取り組んでおり、障がいのある方、ボランティアさん、地域の方々、職員と協力しながら、心を込めて野菜を育てています！

普段はレストハウス内ショップスペースで販売していますが、8月27日から緊急事態宣言発令されショップスペース閉鎖のため、入口付近に一部スペースを設けて販売しています。収穫の時期を迎え、美味しい野菜が次々に元気に育っていて、ミニトマト、ペコロス(チオニオン)、ズッキーニ、ニンニク、じゃがいも、サツマイモなど多くの品種を生産しています。

コロナ禍のこんな時こそ、健康に気をつける！ 体を労わる！ 免疫力をつける！ 栄養たっぷり、無農薬、無肥料、太陽や水、土壤の力のみで育った、生産者も生活者も、安心安全の野菜を是非食べてみて下さい！



## 旭山野鳥メモ⑩ オオアカゲラ

オオアカゲラ White-Backed Woodpecker *Dendrocopos leucotos* キツツキ目キツツキ科

留鳥。旭山では5月下旬から8月はあまり見られないが、9月になると見られ始め、冬はほぼ毎日見られる。夏に少ないのはアカゲラのように市街地付近では繁殖しないためでほぼ完全な山林の鳥。

アカゲラとの主な違いは①アカゲラより大きい②胸から下腹部にかけて黒いタテ斑が入る③翼に逆八の字型の白い大きな部分がない④雄は後頭部から前頭部まで赤い。ただし①は単独では分かりにくく、③はオオアカゲラでも大きく見えることがあります、④はアカゲラでも幼鳥はそのように赤くまた雌はどちらも赤い部分がない、ということで決め手となるのは②。下腹部の赤い羽がアカゲラより薄く見える傾向があるがこれも比較の問題。「キヨッ」という鳴き声はアカゲラとほぼ同じで聞きわけ困難。ドラミング音はアカゲラより大きくて低いがこれも音だけでは判断が難しい(ドラミング音の大きさはむしろクマゲラに近いとも)。

北海道での保護指定状況は留意種となっており、個体数も少ないようだが、アカゲラとは音での識別が難しいこともあります情報不足で詳しい生息状況は分かっていない。旭山ではシラカンバによく来て虫を探している。

警戒心が薄く、いちど採餌を始めると同じ場所に長くいるためじっくり観察・撮影できる。気がつくとパソコンのフォルダにいちばん多いのはオオアカゲラの写真、なんてことにも。冬にはありがたい鳥だ。



## 2021年9月の野鳥トピックス

- ・オオルリ:開放エリアではほとんど見られていません
- ・キビタキ・コサメビタキ:森の家周りなど園内でときどき見られています
- ・クロツグミ・アカハラ:園内でときどき見られています
- ・キセキレイ:幼鳥が時々森の家の周りに来ています
- ・アオジ:幼鳥が巣立ち見られる機会がまた増えてきました
- ・キバシリ:毎年秋に見られるようになりますが、今年は、記録を取り始めてから最も早く9月11日に園内で初めて観察されました
- ・カケス:9月17日にこの秋園内で初めて確認されました
- ・シマエナガ:8月中もときおり見られていました
- ・クマゲラ:ときどき来ています



キバシリ↑

## ナガボノシロワレモコウ「現れる」

この夏、ナガボノシロワレモコウ(バラ科 右写真)が噴水広場下の斜面で花を咲かせているのを見つけました。

ナガボノシロワレモコウは旭山では過去に2回だけ確認された年がありましたが、どちらもミュンヘンの森の法面で、この場所で見つけたのは初めて。

今年咲いた場所はそれまで気づいていなかっただけの可能性もありますが、自ら移動はできない植物が新たに現れるというのは興味深い話です。  
来年も見られるでしょうか、そうあってほしいです。



## ヒグマが近くにいるかもしれない

ヒグマについて、決めつけや思い込みで話をしていますか？ これは自戒の意も込めて言っています。曰く、「子熊だからちょっと来てみただけでもう来ないでしょ？」「一度来たところには来ないんでしょ？」「同じところにずっと長くはいないでしょ？」「公園は人がたくさんいるから大丈夫でしょ？」「朝と夜しか出ないんでしょ？」「いい熊は襲わないんでしょ？」「熊はもういないだろうって●●さんが言ってたよ」…

これらは根拠がない決めつけや思い込みの可能性があり、そのまま信じて行動するのは危険です。断片的な情報では状況を掴めないし、他所の実例をそのままあてはめて判断するのもよくありません。大都市札幌でも、山の近くではヒグマはいつ出るか分からないと常に頭に入れて置く必要があります。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第94号 2021（令和3）年9月17日発行

(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351